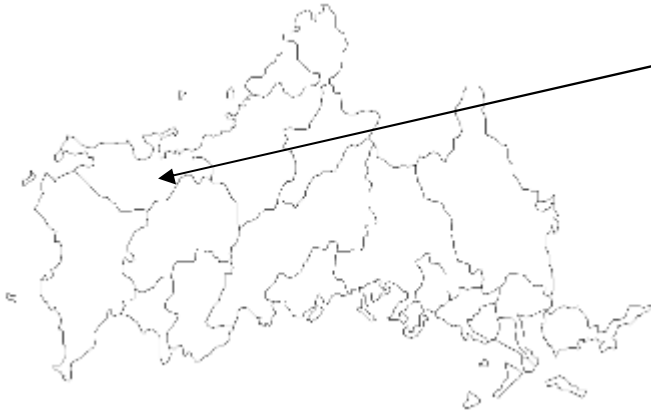


集落協定 かわら版 (第28号)

(平成21年10月23日 山口県農業経営課)



長門市俵山地区

(上安田集落協定)

面積/田 急傾斜 6.6ha

緩傾斜 9.4ha

畑 緩傾斜 0.2ha

参加者 10人

交付金 214万円

(下安田集落協定)

面積/田 急傾斜 0.4ha

緩傾斜 17.0ha

参加者 14人

交付金 145万円

(上政集落協定)

面積/田 急傾斜 7.0ha

緩傾斜 19.6ha

参加者 23人

交付金 304万円

集落連携で、都市交流を行う

協定集落を訪ねました。

・・・長門市俵山地区

上安田(かみあんだ)集落

下安田(しもあんだ)集落

上政(かんまさ)集落・・・

「山口県中山間地域等直接支払制度検討会」(県の第三者機関)の委員である「山口県地域消費者団体連絡協議会」副会長の名和田伴江さんが、山陽小野田消費者の会山陽支部のメンバーと協定集落を訪ねられ、中山間地域の現状や、協定活動についての話を聞きました。

山陽小野田消費者の会

会長 : 名和田伴江

会員数 : 約120人

会員のほとんどは、非農家の方々に、主な取組のひとつとして、毎年、県内の農産物の生産地での農業体験や意見交換をとおして、地産地消を推進する活動を行っています。

今回は、去年の集落協定かわら版 25

号に引き続き、協定集落の人と消費者の意見交換会を実施しました。

3集落の取組の特徴は、平成19年度から、上安田集落及び下安田集落で、水田オーナー制度をスタートさせ、平成20年度からは、上政集落も加えた3集落連携に発展させるとともに、田植え・そばは種・稲刈り・収穫祭・そば打ち・しめ縄づくり体験などの活動も実施するなど、都市農村交流に積極的に取り組んでいることで、年々参加者も増加しているとのこと。

対応していただいたのは、下安田集落協定代表の三浦辰美さん(57歳)と上政集落協定会計の藤永義彦さん(47歳)。

そして、俵山地区を訪れたのは、山陽小野田消費者の会山陽支部の7名の方々でした。

J A 長門大津俵山支所の会議室で、先ず、長門市の岩本主事が地域の概要について説明を行った後、藤永さんが、パワーポイントを使って、協定活動について説明を行いました。



(意見交換会の様子)

集落の状況及び活動概要

長門市俵山地区は、俵山温泉街を手のひらとすると、各集落は、指のように伸びたえき(山あいの比較的平坦地)に点在しているとのことで、上安田、下安田集落は、ひとつのえきにあるが、上政集落は、ひと山越えたえきの集落だということ。

農地は狭く、法面が非常に広いとのこと、また、山が迫っているため、イノシシやシカなどの被害も多く、農地管理が厳しいとのことでした。

直支制度の第二期対策で、体制整備単価が設けられた時、上安田集落と下安田集落で、2集落の連携について話し合わせ、選択要件のひとつとして水田オーナー制度に取り組むことが提案されたとのこと。

もともと俵山地区では、俵山発展促進

協議会の青年部が中心になってグリーンツーリズムによる町おこしをすすめてきた中で、仕事を持つ青年部に協力する形で集落単位での都市農村交流の話し合いがされていたそうです。

平成20年度からは、上政集落も加わって、合計10組の水田オーナー制度に発展しています。

意見交換の内容

農地保全に関すること

Q：中山間地域は、草刈りが大変と聞きます。

A：広い法面が多いが、今のところは、各人で何とか管理できています。それよりは、獣害がひどい。夜、車で走るとよくシカを見かけます。シカには、そばを食べられます。防護柵にも交付金を使っています。

Q：水路・農道管理の賃金は。

A：下安田集落では、農地・水・環境保全向上対策で支払っています。上政集落では、直支で払い、農地・水は、全て改修工事に使っています。

Q：作業には、女性も出てもらうのか。

A：強制ではないが、出てもらったら、賃金は、同じ。

Q：耕作放棄地は、多いか。

A：ほとんどありません。俵山地区では化学肥料や農薬の使用量を慣行栽培の半分以下に抑えた特別栽培米「穂垂米(ほたれまい)」を栽培していて、これがすぐ売れます。そのため、俵山地区には、ほとんど減反がありません。

Q：集落の高齢化は。

A：下安田集落と上政集落には若い人が多いのですが、上安田集落は、高齢化

が進んでいます。ただ、若い人がいるといっても将来的には、不安があります。集落営農について1年以上話し合ったことありますが、最終的には、うまくいきませんでした。俵山地区全体で集落営農や法人化ができれば理想的です。



(オーナー田の田植え風景)

都市農村交流に関すること

Q：水田オーナーはどこから来られるか。

A：下関市や宇部市など市外の人が多いですが、長門市仙崎の方もおられます。

Q：オーナーの会費は。

A：会費は、1 aで32,000円です。オーナーには、田植えや稲刈りに参加してもらって、不作であっても最低30kgは保障しています。去年は50kg収穫できました。はぜかけ米なのでとってもおいしいと評判です。その他年2回(夏と冬)季節の野菜を送っていますし、温泉券も10枚ついています。12月には収穫感謝祭を開き、10組のオーナーが一堂に会します。餅つき、そば打ち、しめ縄づくりやわらじづくりなどで楽しく交流しています。

上政集落にはゆうゆうグリーン俵山青年部が始めたさつま芋オーナー制度を行っているワイワイ農園もありま

す。また、農園の余った場所では、水田オーナーや芋オーナーに呼びかけてそばの種まきや、枝豆、落花生の収穫なども体験してもらうとともに、イベントの度に100円市も開いています。

Q：32,000円の根拠は。

A：先進地である山口市仁保地区の料金を参考にしました。

Q：受け入れに余裕はあるか、

A：上政集落では、もう少し余裕があります。

Q：女性の力が必要ですね。

A：イベントの時には、女性の力は、絶対必要です。良いアイデアも女性から出てきます。若い後継者もイベント時には、手伝ってくれます。

Q：イベントだけでは、もったいない。加工品を販売することも考えては。

A：まだそこまでの取組には至っていませんが、俵山温泉・白猿の湯の1階部分に「湯久里(ゆっくり)倶楽部」という直売所があって、その会員になっている人は、地元産の野菜、米、長門ゆずきち、加工品等を販売しています。



(オーナー田：オーナーの看板あり)

このように意見交換は、活発に行われ、

その他にも参加者から、「俵山にはいい温泉もあり、地産地消の美味しい食事処もある。女性や若い人は、グルメが充実しているところに集まるから、この立地条件を活かして、何か仕掛けられるかも」、「落花生の収穫は、子供が喜びそう」とか「男女問わず、若者を巻き込んだら、さらに発展する可能性がある」などの意見が出ました。

意見交換の後は、上政集落から安田集落を車で移動しながら、オーナー水田やワイワイ農園などの様子を見て回りました。

オーナー水田では、収穫の秋には、はぜかけを待つコシヒカリが、心地よいそよ風に揺れていました。



(ワイワイ農園で記念写真)

~~~~ 編集後記 ~~~~

水田オーナー+芋オーナー、それにそばや落花生などを加えて、趣向を凝らした活発な都市農村交流が展開されていました。

県農業経営課 徳永  
電話 083-933-3350

~~取材を終えて~~

名和田 伴江

8月の終わりに長門市俵地区の中山間地域上安田、下安田、上政集落をグループ7名が訪ねました。

この地域は、自然豊かな比較的温暖なところで気象条件にも恵まれているそうです。集落の中央には俵山温泉があり、昔から多くの人が利用しているところです。

農業生産は水稲を中心として、畜産、施設、園芸との複合経営が展開されており、日置牛、スイカ、長門ゆずきちなどが知られています。

J A 俵山支所で集落協定代表の三浦さん、協定役員の藤永さんにパワーポイントによる協定活動の取組、現状等についてお話しを伺い意見交換をさせていただきました。

また、長門市の担当課岩本さんより長門市の農業、中山間直支の状況について説明をいただきました。

協定は上安田、下安田、上政の3集落で結ばれ、48人が参加されています。各集落はお米づくりが主体で、平成19年度から水田オーナー制度を実施され、最初は4組からはじまり、今年下関、宇部、長門方面から、10組(限度枠)が参加されているそうです。田植・そば播種・稲刈・収穫祭・しめ縄づくり・そば打ちなどの体験もでき、参加者が増えていると聞きました。

また、「ワイワイ農園」開設でさつまいものオーナー制で植付けから収穫まで20組のオーナーが取り組んでいるそうです。収穫は楽しく、年一回の収穫感謝祭では多くの人が集まるなど、都市住民との交流活動が盛んで地域の活性化につながっているそうです。地域ブランド米「穂垂米」をいつか食べたいな~と思っています。

この地区でも地域住民の高齢化が進んでいるようですが、年数回の水路掃除、農道など共同作業を行い、しっかりと農地が管理されています。また、イノシシやシカの被害がひどく、獣害防止対策として柵やネットが設置されていました。

現地を見学した時「ここでは人間が柵の中にいるようですよ」と話された言葉が印象的でした。

高齢化・後継者問題や獣害問題など中山間地域での大変さが伝わってきましたが、それ以上に、農地を荒らすまい、守っていきたいという意気込みが強く感じられるとともに、制度の役割が果たされていることを一同感じることができました。

おいしい俵山まんじゅう、足湯、ひまわりの景観、満足した一日となりました。